



株主の皆様へ

第70期 報告書

2022年4月1日 ~ 2023年3月31日

暮らし・心・環境に。プラスイノベーション。

+++ INNOVATION

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

証券コード 7887

[経営理念]

私たち南海プライウッドは、
独自の発想と経営で革新にチャレンジし、
お客様の求める真の価値を創造し、
ステークホルダーおよび社会との
調和ある安定成長を実現します。

[コーポレートステートメント]

この理念のもと、企業の社会的責任を追求しています。
安心・安全・快適。品質第一のものづくりを推進し、
自然と住まいに優しい環境優先型製品の開発を通じ、
住宅文化の発展向上と持続可能な社会を目指すとともに、
法令を遵守した公正な社会創りに貢献するために
社会に対し3つの誓約を実践します。

行動規範 理念実現のための 3つのPROMISE

1 暮らし+INNOVATION

安定持続社会のために企業倫理を守ります。
ステークホルダーの安心の暮らしを守るために
CSR/コンプライアンスを経営の中核においた
態勢を構築します。

2 心+INNOVATION

お客様の心を満たします。
大切なお客様の笑顔を守り、
信頼を築く態勢を構築します。

3 環境+INNOVATION

あらゆる環境の持続に努めます。
自然・社会・人の環境持続を優先した
態勢を構築します。

ごあいさつ

代表取締役社長

丸山 徹



当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染状況が緩やかに改善したことから、経済活動は持ち直し正常化に向かう一方、急激な為替変動やロシアウクライナ情勢を背景としたグローバルサプライチェーンの混乱等から資源価格の上昇の影響もあり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

住宅関連業界におきましては、建築資材や住設機器、物流コストの上昇により、住宅建築価格の上昇傾向が続いており、持家の着工戸数は前年度から大きく減少しております。また、住宅ローン金利上昇懸念と急激な物価高が住宅取得における消費マインドを徐々に鈍らせており、今後の経営環境への影響を懸念しております。

このような状況のなか、当社グループは、木材関連事業では新設住宅着工戸数に依存しない新規市場での収益獲得が重要な課題となっており、リフォーム市場やDIY、ECビジネス等の個人向け市場、非住宅市場、海外市場などに向けた製品展開が重要と考えております。このような市場ニーズを反映した当社製品を、お客様がユーザー体験をしていただけるような様々な収納アイデアを取り入れた収納体験型ショールームを全国4か所に開設してきました。

また、収納建材事業の基盤を更に強化するため、製造、物流機能に対しても積極投資を行いました。

今後は、住宅業界が将来的にも厳しい市場環境におかれることが予測されることから、将来の安定的収益獲得のために事業基盤強化につながる投資への資本配分に重点を置き、企業価値向上に取り組んでまいります。

電線関連事業では、銅をはじめとした資材価格の高騰による影響から電線、電材の仕入価格の値上がりにより、競合他社との価格競争が一段と厳しい状況が継続しております。引き続き、徹底した原価管理や販売品目の見直しによる利益率改善に重点を置きつつ、販売の拡大に注力してまいります。

一般管工事関連事業では、西日本エリアにおける化学プラント物件向け配管工事、ライニング工事を中心とした事業展開をしており、工場の設備改修需要が回復基調にあることから、更なる収益拡大に向けて、現場管理の人員強化、体制の整備等に注力してまいります。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高23,061百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益906百万円(前年同期比58.2%減)、経常利益880百万円(前年同期比65.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益1,590百万円(前年同期比12.5%増)となりました。

今後も株主の皆様のご期待に応えるべく、グループ一丸となって取り組んでまいりますので、皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2023年6月



NEW OPEN 2022

完全予約制

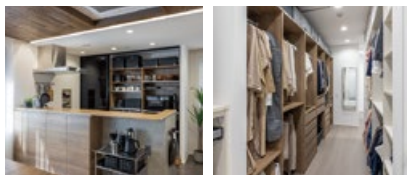
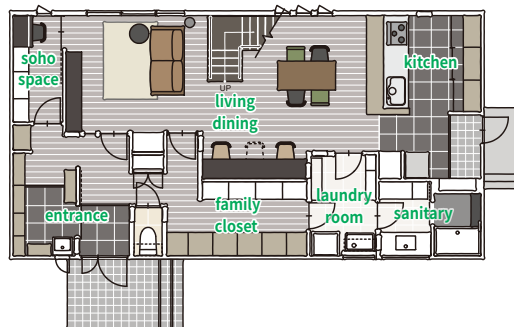
TOKYO SHOWROOM

東京ショールーム

東京ショールームが移転リニューアルオープン！ 快適な収納で暮らしのストレスがない家づくりを応援。 悩みを解決する体験型ショールーム。

ショールームスペースを拡大して、コンセプトを一新！
暮らしのストレスを減らす最適な収納製品や新しい生活様式の提案が盛りたくさん！

家族が協力して家事をする共家事（ともかじ）ホームをコンセプトに、家事動線や生活動線を考えた間取りや、暮らしのストレスを減らすための片づけ収納ノウハウを取り入れ、新築後のストレスを減らす家づくりに役立つ体感型ショールームを新しくオープンしました。





BRAND NEW PRODUCT

LACOA

アクセントウォール [ラコア]



ARTFLOOR ROPA12・6

アートフロア [ロパ12・6]

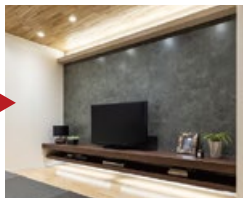
リアルな質感にこだわった壁材と床材! 続々リリース! 壁面を高級感のある表情にデザインできる「ラコア」。 天然の風合いとリアルな質感にこだわった、アートフロア「ロパ」。

クロス貼りでは表現できない、
リアルな表情と心地よい質感の壁材です。

空間装飾の需要が高まるリビングやキッチンなどに最適。
一般的なクロスからラコアにすることで空間全体の印象を
引き締め、表情も豊かに演出します。



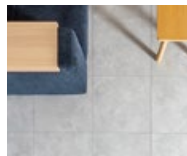
一般的なクロス仕上げ



ラコア仕上げ(カラー:トリッドブラック)

自然の風合いを大切にしたい意匠性。表面の心地良い
質感と耐久性にもこだわったアートフロアです。

自然な凹凸感を生み出し、傷が目立ちにくいハンマーターン仕上げ。
さらに塗料に淡い光沢感のあるパールインキを施し、上品な印象を
演出できるアートフロア ロパ。厚みは12mmと5.8mmをラインナップ。



既存のフローリング

重ね貼り施工したロパ6



トリッドグレー

ダイナミックに柄を表現する
ことができる454.5mm角の
デザインパターン。

アートフロア ロパ6は、リフォームフロアとしても最適な
厚み5.8mm。既存の床を取り外すことなく、重ね貼り
施工をすることで残材削減、工期短縮ができます。

決算ハイライト

連結損益計算書

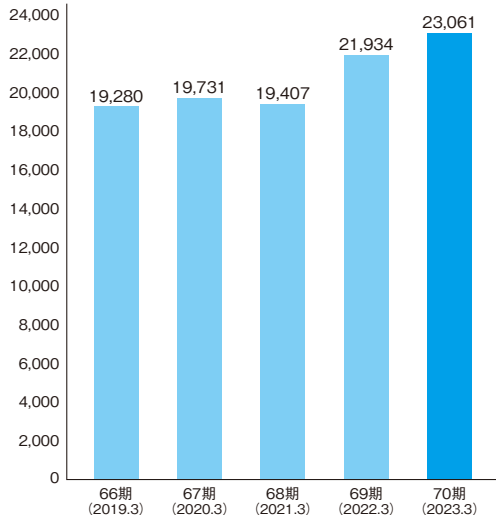
(単位:百万円)

	前連結会計年度 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	当連結会計年度 2022年4月1日から 2023年3月31日まで
売上高	21,934	23,061
売上原価	14,313	16,542
売上総利益	7,621	6,519
販売費及び一般管理費	5,455	5,613
営業利益	2,166	906
営業外収益	418	331
営業外費用	56	357
経常利益	2,528	880
特別利益	241	680
特別損失	227	531
税金等調整前当期純利益	2,542	1,029
法人税等	1,125	△577
当期純利益	1,417	1,606
非支配株主に帰属する当期純利益	3	15
親会社株式に帰属する当期純利益	1,414	1,590

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

▽売上高の推移

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書

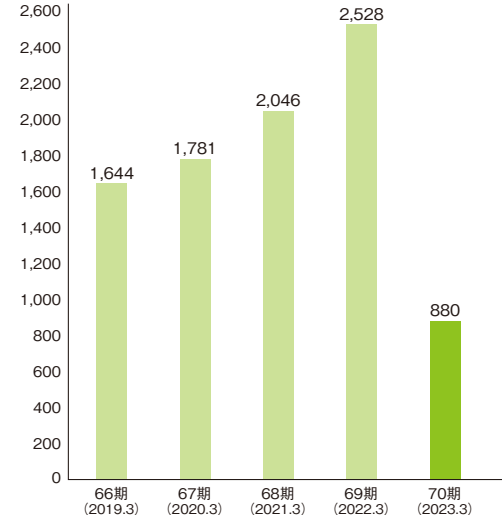
(単位:百万円)

	前連結会計年度 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	当連結会計年度 2022年4月1日から 2023年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,888	△1,587
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,861	△1,927
財務活動によるキャッシュ・フロー	867	2,989
現金及び現金同等物に係る換算差額	110	180
現金及び現金同等物の増減額	1,004	△344
現金及び現金同等物の期首残高	2,327	3,331
現金及び現金同等物の期末残高	3,331	2,986

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

▽経常利益の推移

(単位:百万円)



当期の概況

(木材関連事業)

当セグメントにおける、国内市場については、収納材を中心にお客様のニーズを第一に製品の生産・販売活動に注力した結果、新規販売先の開拓や新規採用品の増加に繋がり、販売先の拡大が継続しております。しかし世界的なインフレ基調と円安相場の継続により原材料価格やエネルギーコストが高止まりの状態となっており、製造原価・物流コストの上昇によるセグメント利益率の低下が避けられない状況が継続しております。また、海外市場については、フランス子会社の合板製造販売事業において、販売価格の値上げや製造工程の見直しによる赤字幅の縮小を目指しております。しかし、ロシアウクライナ問題に起因するエネルギー価格の高騰が製造コストを上昇させる状況が継続しており、経営を取り巻く状況は厳しさを増しております。引き続き、安価なグレードの合板の生産比率が高くなるという生産上の課題に対して、より市場価格の高い高品質な合板の生産比率を上げることや歩留を改善するための設備投資等の挺入れを行い、経営状況の改善に取り組んでまいります。

この結果、当セグメントの業績は、売上高20,986百万円(前年同期比4.5%増)、セグメント利益775百万円(前年同期比61.6%減)となりました。

(電線関連事業)

当セグメントでは、地方における電材業界に寄与する物件の新設が減少傾向にあることに対応するため、新規顧客の開拓、小口販売の拡充などの営業強化に取り組みましたが、電材仕入価格の上昇に反して同業各社におけるシェア拡大のための価格競争が激化したことでセグメント利益率は低下する状況となりました。

この結果、当セグメントの業績は、売上高1,577百万円(前年同期比17.4%増)、セグメント利益40百万円(前年同期比7.5%減)となりました。

(一般管工事関連事業)

当セグメントでは、顧客の設備投資および設備改修工事が増加傾向にあり、前期に引き続き安定的に工事物件を受注することができました。しかしながら資材価格の高騰の影響により利益率は低下する状況となりました。

この結果、当セグメントの業績は、売上高498百万円(前年同期比3.6%減)、セグメント利益63百万円(前年同期比16.2%減)となりました。

次期の見通し

(木材関連事業)

中期的な新設住宅着工戸数の減少に対応するため、新規事業に取り組むことが重要な課題となっており、「リフォーム市場」「DIY、ECビジネス等の個人向け市場」「非住宅市場」「海外市場」をテーマに、それぞれのテーマごとに製品展開を図ってまいります。

当セグメントの業績は、売上高22,689百万円(前年同期比8.1%増)、セグメント利益898百万円(前年同期比15.8%増)になるものと予想しております。

(電線関連事業)

引き続き、営業組織の体制の整備、営業担当者の育成に注力して、新規顧客の獲得を目指してまいります。

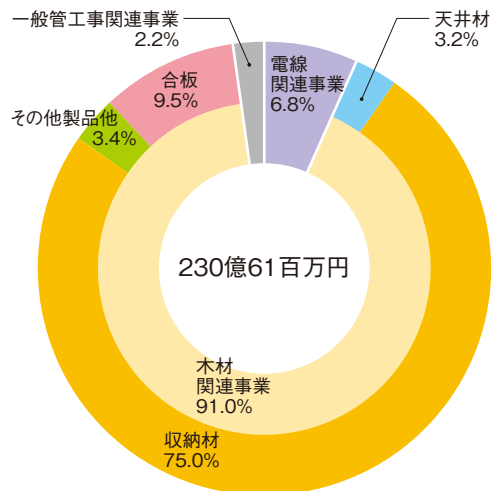
当セグメントの業績は、売上高1,711百万円(前年同期比8.5%増)、セグメント利益49百万円(前年同期比20.1%増)になるものと予想しております。

(一般管工事関連事業)

業態の特殊性から比較的同業他社との価格競争やシェア争い等の脅威が少なく、安定した売上、利益の確保を目指しております。

当セグメントの業績は、売上高600百万円(前年同期比20.4%増)、セグメント利益53百万円(前年同期比17.1%減)になるものと予想しております。

▼セグメント別の連結売上高構成(連結)



株式の状況

(2023年3月31日現在)

総数

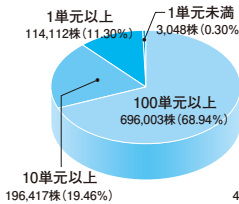
発行可能株式総数	2,000,000株
発行済株式の総数	1,009,580株
株主数	675名(前年度期末比22名増)

大株主(上位10名)

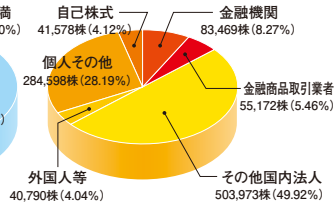
株主名	持株数	持株比率
南海興産株式会社	275,309株	28.44%
公益財団法人南海育英会	155,450	16.05
株式会社百十四銀行	46,779	4.83
丸山 徹	37,376	3.86
小林 茂	30,270	3.12
株式会社愛媛銀行	24,310	2.51
四国興業株式会社	23,276	2.40
株式会社SBI証券	21,900	2.26
丸山 宏	15,000	1.54
南海プライウッド従業員持株会	13,955	1.44

(注)当社は自己株式41,578株を所有しております。なお、持株比率は当該自己株式を発行済株式の総数から控除して算出しております。

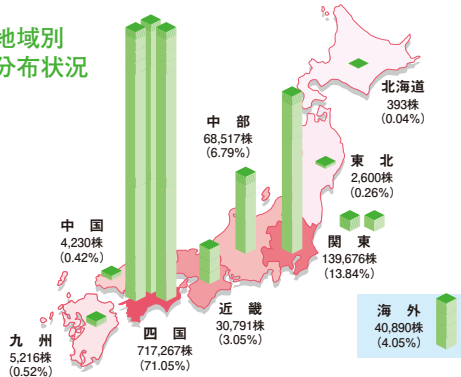
所有株数別分布状況



所有者別分布状況



地域別分布状況



会社概要

(2023年3月31日現在)

商号 南海プライウッド株式会社
 本社 〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号
 電話 087(825)3615 (人事総務グループ)

インターネットホームページ <https://www.nankaiplywood.co.jp>

設立 昭和30年4月16日
 資本金 21億21百万円
 従業員数 427名(連結1,931名)
 事業内容 建築内装材の製造・販売
 事業所 志度工場
 〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地
 物流センター
 〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1
 朝日新町資材物流センター
 〒760-0064 香川県高松市朝日新町36番52号

役員

(2023年3月31日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	監査役	大川 俊徳
取締役 上席執行役員	丸山 宏	監査役	岩部 達雄
取締役 上席執行役員	藤本 英二	執行役員	渡邊 浩平
取締役 上席執行役員	大川 正仁	執行役員	清水 広志
取締役 上席執行役員	浮田 貴仁	執行役員	松下 直樹
取締役(社外)	村田 剛	執行役員	西谷 文雄
常勤監査役	玉置 康洋	執行役員	野生 須賢司

連結子会社

(2023年3月31日現在)

木材関連事業 南海港運株式会社
 PT.NANKAI INDONESIA
 NP ROLPIN SAS
 ROLKEM SAS

電線関連事業 ナンリツ株式会社

一般管工事業 南海化工株式会社

株主メモ

- **事業年度** 4月1日から翌年3月31日まで
- **定時株主総会** 毎年6月に開催いたします。
- **基準日**

定時株主総会の議決権	3月31日
期末配当	3月31日
中間配当	9月30日

※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
- **公告方法** 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- **上場証券取引所** 東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード 7887)
- **単元株式数** 100株
- **株主名簿管理人** / 特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
- **郵便物送付先** / 各種お問合せ先
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777(通話料無料)

お知らせ

- **住所変更、単元未満株式の買取り等のお申し出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座のない株主様につきましては、当社が特別口座を開設し管理していますので、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
- **未払配当金のお支払いについて**
株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。